

令和8年度
新潟県病害虫発生予察速報第2号
(広食性チョウ目害虫の発生状況)

1 発生状況

- (1) 新潟県農業総合研究所園芸研究センター（北蒲原郡聖籠町真野）におけるフェロモントラップの各種雄成虫の誘殺数は、オオタバコガ、ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウのいずれも6月第1半旬に平年に比べ多くなっている（図）。
- (2) 県内におけるフェロモントラップの累計誘殺数は、オオタバコガは5月第1半旬から6月第3半旬にかけて、地点差はあるが平均すると平年比1.07倍、ハスモンヨトウは平年比2.55倍になっている。またシロイチモジヨトウは、6月第1半旬から第3半旬にかけて、平均で平年比1.20倍になっている（表）。
- (3) 気象庁6月25日発表の1か月予報では、気温は「高い」と予想されており、7月に向けて上記3種の増殖や食害が進むと考えられる。

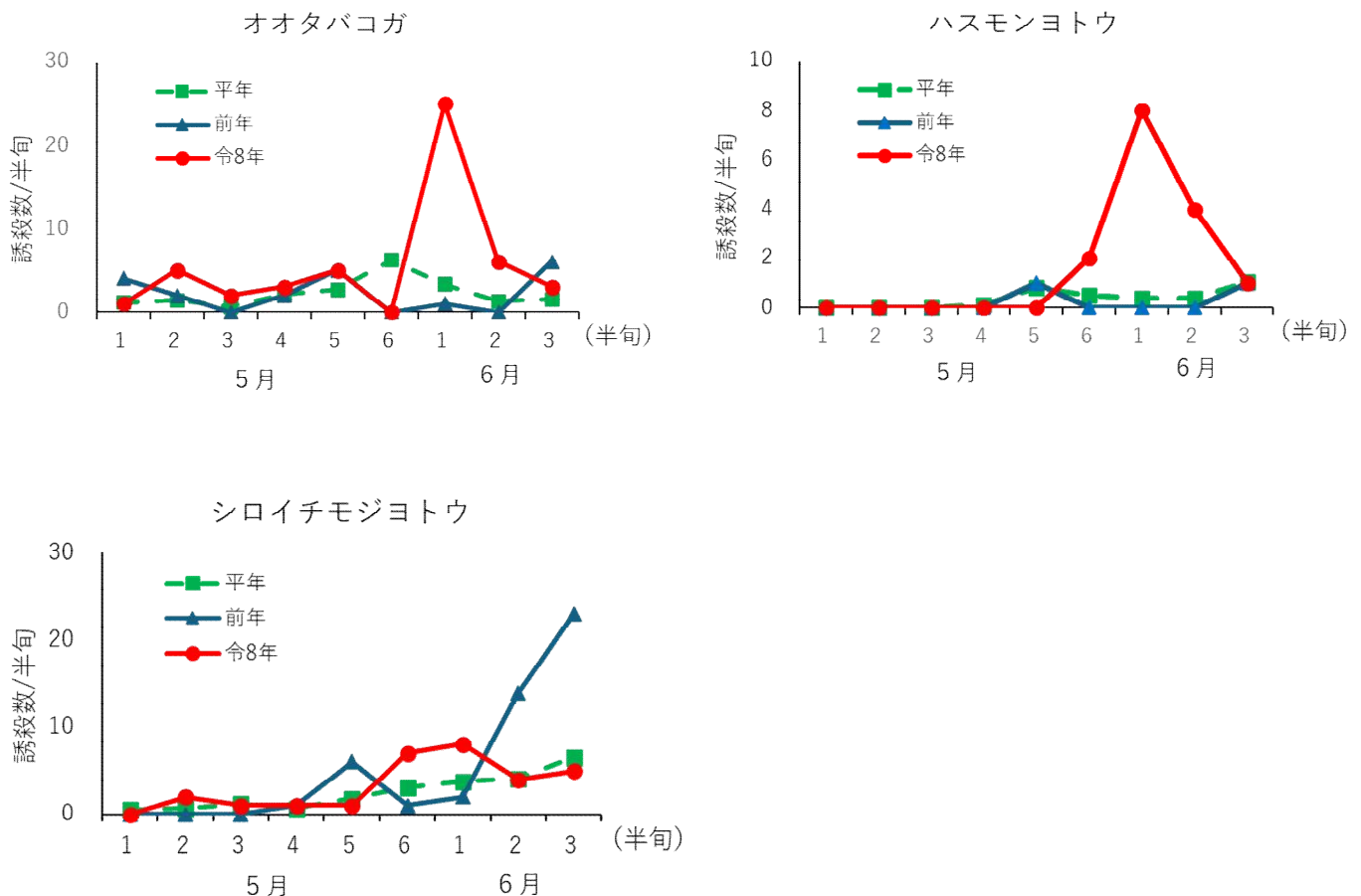


図 各種チョウ目害虫のフェロモントラップ誘殺状況
調査地点：新潟県農業総合研究所園芸研究センター（北蒲原郡聖籠町真野）

表 各種チョウ目害虫のフェロモントラップ累計誘殺数

対象害虫	調査地点	作物	本年(a)	平年(b)	平年比(a/b)
オオタバコガ	県園芸研究センター	野菜全般	50.0	20.2	2.48
	新潟市北区神谷内	すいか	80.0	51.0	1.57
	新潟市西区内野	すいか	63.0	143.2	0.44
	新潟市西区山崎	すいか	297.0	198.8	1.49
	新潟市西蒲区越前浜	すいか	271.0	242.5	1.12
	新潟市西蒲区松野尾	すいか	146.0	188.2	0.78
	地点平均		151.2	140.6	1.07
ハスモンヨトウ	県園芸研究センター	野菜全般	15.0	3.3	4.62
	新潟市西蒲区松野尾	すいか	112.0	46.6	2.40
	地点平均		63.5	24.9	2.55
シロイチモジヨトウ※	県園芸研究センター	野菜全般	17.0	14.4	1.18
	胎内市菅田	ねぎ	12.0	9.7	1.24
	地点平均		14.5	12.0	1.20

注1) シロイチモジヨトウは、6月第1半旬～第3半旬の累計。他は、5月第1半旬～6月第3半旬までの累計。

注2) 新潟県農業総合研究所園芸研究センター以外の地点は、誘殺数を調査期間で除して日平均誘殺数を計算し、半旬単位に再計算した。

2 対策

- (1) オオタバコガ、ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウは、いずれも広食性の害虫であり、多くの野菜、花き類などを食害する。幼虫の発生に注意し、ほ場を見回って卵塊や若齢幼虫の早期発見と除去に努める。また、ほ場周辺の雑草に寄生が認められた場合も除去する。
- (2) 幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が大きく低下する。このためほ場をこまめに見回り、若齢幼虫期に薬液が十分かかるようにていねいに防除する。
- (3) 薬剤抵抗性の発達を防止するために、作用機構の同じ薬剤の連用を避ける。RAC コード (<http://www.croplifejapan.org/labomechanism.html>) を確認し、異なる薬剤をローテーションで使用する。